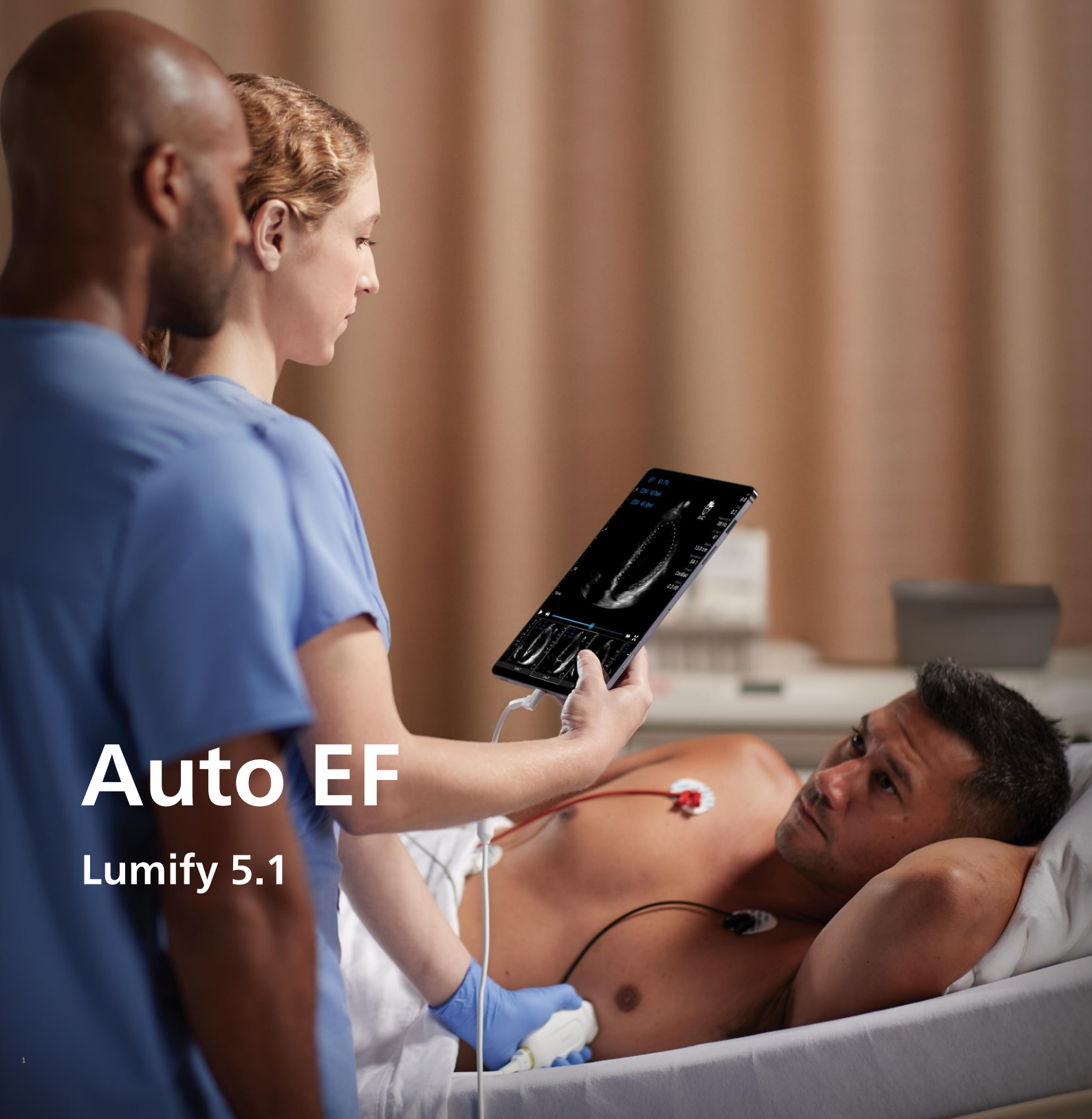


PHILIPS

Auto EF

Lumify 5.1



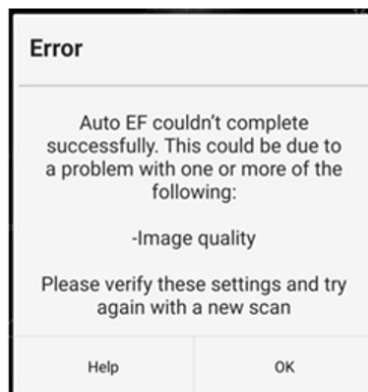
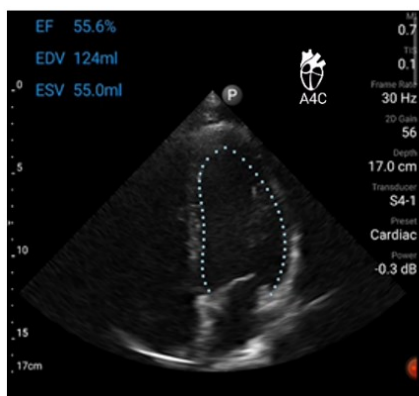
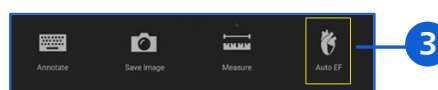
1. プローブ、プリセット/アプリケーションの選択

1. タブレットの電源を入れます
2. トランスジューサをタブレットに接続します
*対応トランスジューサ：S4-1セクタトランスジューサ
3. メッセージが表示されたら、[Use By Default for This USB Device]をタップします
4. [OK]をタップします
5. [Scan/Create Patient]画面で、[Cardica]  の検査プリセットをタップします



2. 画像の取得と解析

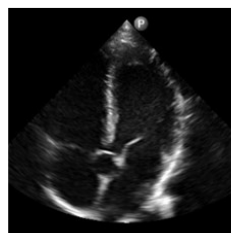
1. 左心室が中心に描出され、心内膜境界が明瞭に確認できる心尖部四腔断面（A4C）像を取得します
2. 約3秒間、プローブおよび患者の動きを最小限に保ちながら画像を保持します
3. フリーズを押し、[Auto EF]  を選択します
4. アルゴリズムによる解析が完了するまでお待ちください
5. 解析結果を確認します。EFを算出できない場合は、エラーメッセージが表示されることがあります



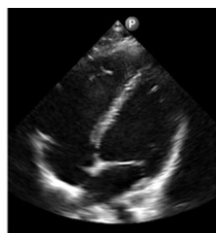
※ Auto EFの最適な解析のために、以下の条件を満たす画像取得を推奨します

- ・ 左心室が中心に描出された心尖部四腔断面（A4C）像を取得すること
- ・ 心内膜境界が明瞭に描出されていること
- ・ 画像深度を12～18 cmの範囲に設定すること
- ・ 心室中隔ができるだけ垂直に表示されていること
- ・ 心尖部短縮像（Foreshortening）がないこと

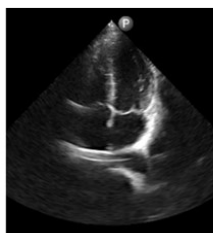
【解析に不適切な画像取得例】



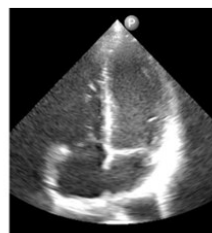
五腔断面像



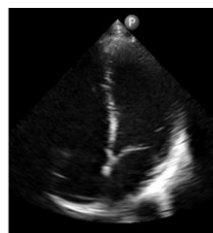
心室中隔の
位置が不適切



深度設定が
不適切



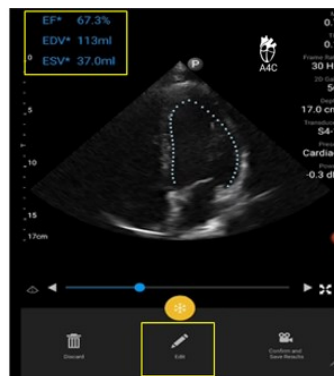
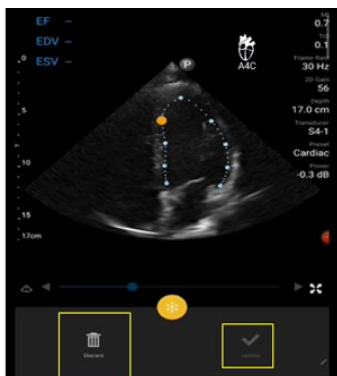
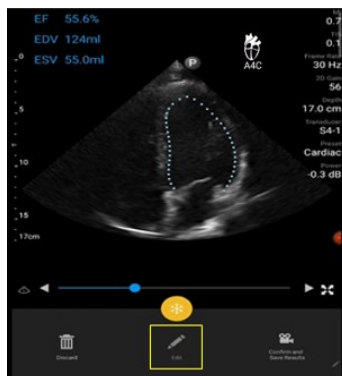
ゲインが
高すぎる



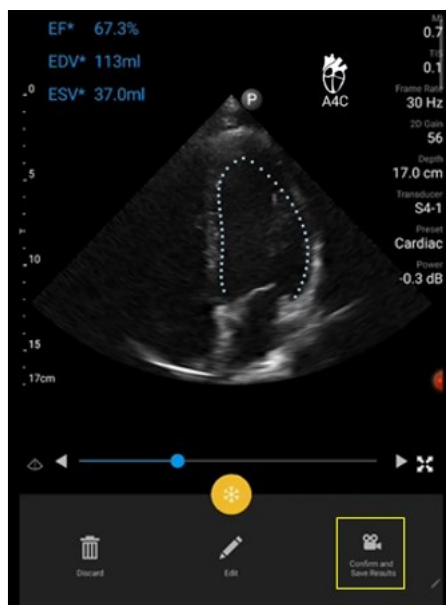
壁の描出不良

3. 解析結果の編集と保存

1. 必要に応じて [Edit] を選択します
2. 調整したいポイント（ドット）を選択し、心内膜境界に合わせてドラッグします
3. スクロールして各フレームの輪郭トレースを確認します
4. [Update] を選択し、解析結果を更新します
5. 手動で編集した結果には「*」が表示されます



6. [Confirm and Save Results] を選択して結果を保存します
解析結果および輪郭トレースを含む動画クリップが保存されます
システムには以下の測定値が表示されます
 - EF（Ejection Fraction：左室駆出率）
 - EDV（End-Diastolic Volume：左室拡張末期容積）
 - ESV（End-Systolic Volume：左室収縮末期容積）





製造販売業者

株式会社フィリップス・ジャパン

〒106-0041 東京都港区麻布台1-3-1
麻布台ヒルズ森JPタワー15階

お客様窓口 03-3740-3213

受付時間 9:00 ~ 18:00 (土・日・祝祭日・年末年始を除く)

www.philips.co.jp/healthcare

改良などの理由により予告なしに意匠、仕様の一部を変更することがあります。あらかじめご了承ください。詳しくは担当営業、もしくは「お客様窓口」までお問い合わせください。記載されている製品名などの固有名詞は、Koninklijke Philips N.V.またはその他の会社の商標または登録商標です。

©2026 Koninklijke Philips N.V.

販売名 : 超音波画像診断装置 Lumify
製造販売認証番号 : 302AFBZX00043000
管理医療機器 / 特定保守管理医療機器

260715